

採択基準	基本観点	発行者名	
		2 東書	11 学図
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫 別表 1	本編・基礎編・資料編の3部構成であり、本編ですべての指導事項を扱っている。 より深く古典の世界を理解するために、各学年、絵巻や図版等の折込資料があり、古典作品のあらすじや歴史的背景等を紹介している。 各学年に3か所ある読書案内で、テーマ別に読み比べや読み広げができるようにしている。また、「読むこと」教材の脚注欄にも読書案内があり、資料編では読書活動を紹介している。	五つの単元、二つの読書、言語の学習で構成され、各単元ですべての指導事項を扱っている。 各学年の古典単元の冒頭に古典導入文を設け、言葉の力について考えさせるなど、古典作品を読み深めるためのねらいを示している。 読書単元を設定し、幅広い読書活動を進めるとともに、自分で図書を探す道筋を示した読書案内を設けている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮 別表 2	各教材で身につけたい知識・技能のポイントを、「言葉の力」で明示している。また、本編の「てびき／学びの扉」と基礎編の「学びを支える言葉の力」を連動させ、学習に関連をもたせている。 「漢字道場」では、漢字の基礎知識を整理しながら新出漢字も学べるようにしている。 文法導入教材としての「文法の窓」と体系的に整理した「文法解説」がある。「文法解説」には練習問題を付けている。また、日本語の特徴を整理した「日本語探検」がある。	「読むこと」教材では、第一教材と第二教材、選択教材を配し、「脚問」や「学びの窓」に取り組みながら段階に応じた読み深めができるようにしている。 漢字の成り立ちや熟語の構成等を体系的に扱ったコラム「漢字/語/文字を見抜く」を設けている。 「文法の学習」で課題を発見し、練習問題で知識の定着を図っている。また、各学年に言葉に関するコラム「言葉と生活・言葉と文化」を配している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表 3	「読むこと」教材で、図表や写真（非連続的テキスト）などと文章の関係を捉えて読み、多様なテキストの分析や解釈をする教材を取り上げている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、活動過程の具体例や完成作品例を多数提示している。	「読むこと」教材で、図表や写真（非連続的テキスト）などと文章の関係を捉えて読み、多様なテキストの分析や解釈をする教材を取り上げている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、「学習の見通しを持つ」として学習過程を順序立てて示すとともに、生徒作品例を多数提示している。

発行者名		
15 三省堂	17 教出	38 光村
本編と資料編の二部構成で、本編ですべての指導事項を扱っている。 各学年の古典単元の冒頭に色彩を工夫した折込資料がある。また、各学年に教材理解を深めるためのコラムがある。 「読むこと」教材末の「私の本棚」で関連図書を紹介している。また、資料編の「読書の広場」では、図書紹介と情報検索・情報活用のヒントを掲載している。	一つ一つの単元に三領域、一事項を配置し、すべての指導事項を扱っている。 コラム「四季のたより」で、美しい日本語に触れる機会を設けている。また、古典への興味・関心を高めるため、絵巻等の視覚資料を多用している。 「読むこと」教材末の「読んでみよう」で関連図書を紹介している。また、読書コラムでテーマを設定し、図書を紹介している。	「本教材」「小教材」「練習教材」「コラム」で構成され、「本教材」においてすべての指導事項を扱っている。 「音読を楽しもう」やコラム「季節のしおり」を設け、古典特有の美しい響きや日本人特有の感性に触れられるようにしている。 「読むこと」教材末の「広がる読書」で関連図書を紹介している。また、「読書案内」で読み広げができるよう図書を紹介している。
各学年の「読むこと」教材に「読み方を学ぼう」を配し、知識・技能を可視化しながら学び方を示している。また、「学びの道しるべ」を設けて、学習理解が深まるようにしている。 「文法のまど」「文法のまとめ」「ことば発見」「漢字のしくみ」「漢字を身につけよう」において、言語運用能力の向上を図っている。 「ことば発見」や「文法のまとめ」では、練習問題を活用して知識を確認できるようにしている。	「読むこと」教材には学習の手引き「みちしるべ」があり、三段階で学びを深めることができる。また、「ここが大事」で学習のポイントを示している。 漢字は、文や語彙、漢字の知識とともに「読むこと」教材や「漢字の広場」「漢字の練習」で学習し、巻末の「練習問題」を活用して習熟できるようにしている。 「言葉の小窓」や「文法の小窓」と巻末の解説教材を連動させ、体系的に学習できるようにしている。	教材末に「学習」があり、読み深めながら学習を振り返ることができる。また、各教材で身につける力や手順、文章の内容を理解するためのポイントを「学習の窓」で示している。 「読むこと」教材に「漢字を確認しよう」を設け、新出漢字や小学校の漢字を復習できるようにしている。 各単元末に配置した「文法への扉」「言葉」「漢字」と「文法」「漢字に親しもう」を関連付けながら言葉の知識の定着を図っている。
「読むこと」教材で、図表や写真（非連続的テキスト）などと文章の関係を捉えて読み、多様なテキストの分析や解釈をする教材を取り上げている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、「学習の目標」と学習の手順を「学習の流れ」で明確に示すとともに、様々な活動例を提示している。	「読むこと」教材で、図表や写真（非連続的テキスト）などと文章の関係を捉えて読み、多様なテキストの分析や解釈をする教材を取り上げている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、「活動の流れにそって学ぼう」で学習過程を順序立てて示し、学習の見通しと重点を確認できるようにしている。	「読むこと」教材で、図表や写真（非連続的テキスト）などと文章の関係を捉えて読み、多様なテキストの分析や解釈をする教材を取り上げている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習の目標と活動の流れを冒頭に示し、日常生活に活用できる言語活動を段階的に設定している。

採択基準	基本観点	発行者名	
		2 東書	11 学図
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	言語活動で重視する点を「言葉の力」に示している。 「話すこと・聞くこと」教材では、ことわざスピーチや提案型のプレゼンテーション、場の条件に合わせたスピーチなど、日常生活に関わるものを取り上げている。	表現教材の前に、コラム「活動を考える」を配し、読解活動と表現活動の連携を図るための準備活動を紹介している。 「発見する読み」を各学年に配し、読み深めの視点を示している。
	(3) 生徒が自主的に学習に取り組むことができる配慮	各教材の「てびき」に、理解するための「たすけ」を示している。また、各教材で身につけたい知識・技能のポイントを、「言葉の力」で明示している。 資料編「言葉を広げよう」において、3学年で1412の言葉について、すべて例文付きで示している。	読解教材のてびきである「学びの窓」や「話すこと・聞くこと」「書くこと」等の言語活動に様々な題材・資料を提示し、読書やより深い探求活動につながるようにしている。 「学びの窓」では自ら積極的に予習・復習に取り組めるように、家庭学習の視点を明らかにしている。
	別表 4		
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	3年の資料編に、「発展」と明記し、古典の文法の特徴などを取り上げている。	全学年共通巻末資料に、「発展」と明記し、「古典文法」と「今に伝わる注意したい古語」「口語・文語活用対照表」を掲載している。
(5) 他の教科等との関連	レポート、手紙、スピーチ、多様な話し合い等、他教科や実生活に生かせる内容を取り扱っている。 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。	コラム「話す・聞く」でのプレゼンテーション、スピーチ、「書く」での取材・記事において、他教科での学習活用例を示している。 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。	
別表 6			

発行者名		
15 三省堂	17 教出	38 光村
言語活動で重視する点を「ポイント」に示している。 「読み方を学ぼう」を各学年に配し、読み深めの視点を示している。	言語活動で重視する点として、「学びの重点」に「活動のポイント」を示している。 「話すこと・聞くこと」教材では、報告や説得力のある意見など対話力を重視した教材を扱っている。	言語活動で重視する点を「学習の窓」に示している。 「書くこと」教材では、ポスターセッションや批評文など、日常生活に対応した言語活動を取り扱っている。
「読み方を学ぼう」で、読み深めの視点など、学び方をわかりやすく示している。 各学年資料編の「読む力を伸ばそう」では、個に応じた実践的な読みの力が身に付くようにしている。	教材末に「みちしるべ」があり、「ここが大事」で学習のポイントを示している。 各学年の新出漢字について、巻末に練習問題を設け、漢字を語彙や文脈の中で習熟できるようにしている。また、巻末の「言葉の自習室」には、「読むこと」の補充作品や各領域の活用資料を掲載し(小倉百人一首の折込など)、活用的な読みや表現活動ができるようにしている。	教材末の「学習」に、「学習の窓」があり、身に付ける力のポイントを示している。また、「学習を振り返る」「次へつなげよう」で学習の振り返りの場を設けている。 各学年に「続けてみよう」を設け、語彙力を高めたり、言語感覚を磨くための工夫や習慣化を促している。
	3年生巻末折込において「発展」と明記し、文語文法活用表を掲載している。	3年生資料編に「発展」と明記し、「文語の活用」を掲載している。また、「古典・近代文学の名作」において、高等学校で学習する古典教材を取り上げている。
「学ぶ力を高めよう」で、学びをより広めたり深めたりするときに生かせる様々な方法を紹介している。 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。	「学びに生かそう」「言葉の自習室」において、日常生活や他教科の学習にも生かせる教材を取り扱っている。 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。	資料編(学習を広げる)「三年間の言葉の力を確かめよう」に他教科の学習活動に生かせる言葉の力を一覧に示し、学習テーマ、教材、資料を取り上げている。 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。

教科・種目名 国 語

採択基準	基本観点	発行者名	
		2 東書	11 学図
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	<p>教科書サイズは、B5判である。</p> <p>カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に適應するよう配慮している。</p> <p>1年の「読むこと」の教材では、他学年より一回り大きな活字を用いている。また、小学校で学習していない漢字には初出箇所を振り仮名を付けている。</p> <p>特別なキャラクターを設定し、生徒との会話形式で挿絵を入れている。</p>	<p>教科書サイズは、B5判である。</p> <p>ユニバーサルデザインに配慮している。目にやさしいクリーム色の用紙を使い、各領域やコラム、コーナー等では全学年共通の色分けをしている。</p> <p>授業の過程でサイドラインを引いたり書き込みを施しやすくするため、読解教材においては行間を十分に取る等、配慮している。</p> <p>漢字を学習するページには、特別なキャラクターの挿絵がある。</p>
	別表7		

発行者名		
15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>教科書サイズは、B5判である。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに配慮し、色の濃淡や野線の使い分けなどを工夫している。</p> <p>生徒風の挿絵がある。漫画の引用がある。</p>	<p>教科書サイズは、B5判である。</p> <p>ユニバーサルデザインに配慮している。また、用紙は文字の視認性が高く裏写りしにくいものを使用している。</p> <p>生徒風、先生風の挿絵がある。アニメ画の引用がある。</p>	<p>教科書サイズは、B5判である。</p> <p>カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。色覚特性に對應するため、印刷の配色や色調に配慮している。</p> <p>古典教材に写真資料が多い。</p> <p>生徒風の挿絵がある。</p>